

全身外傷 CT 検査の医療被ばく管理における CT 画像を用いた患者体格の推定に関する研究

2020年7月1日から2021年12月31日までに外傷診療のために全身CT検査を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「全身外傷 CT 検査の医療被ばく管理における CT 画像を用いた患者体格の推定に関する研究」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、2020年7月1日から2021年12月31日までに日本医科大学付属病院にて、外傷診療のために全身CT検査で造影剤を使用した検査を受けた患者さんのCT画像を用いて患者さんの体格を推定する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：全身外傷 CT 検査の医療被ばく管理における CT 画像を用いた患者体格の推定に関する研究

研究期間：研究実施許可日～2024年3月31日

当院における研究責任者：日本医科大学付属病院 放射線科 菅谷 正範

(2) 研究の意義、目的について

近年において放射線は医療の領域で広く利用されており無くてはならないものとなり、放射線を用いた医療が大きな利益をもたらしています。一方で、安全で有効な放射線医療を受けられるように放射線防護の取り組みも重要です。日本における CT 検査の被ばく線量管理は患者さんの体重を参考に行われますが、外傷診療などでは事前に体重を知ることは難しく、体重を指標とした被ばく線量管理が難しいことがあります。そこで、当院に導入されている被ばく線量を管理するシステムを用いて CT 検査画像から自動で計算できる体重以外の体格指標が、体重に代わる指標として有用かを明らかにすることを目的といたします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

2020年7月1日より2021年12月31日までに日本医科大学付属病院にて外傷診療のために全身CT検査で造影剤を使用した検査を受け、検査後に身体測定によって体格情報を得られた患者さんについて、以下の試料・情報を収集、使用いたします。

試料：なし

情報：年齢、性別、身長、体重、臨床所見、被ばく線量、検査時の体勢、検査部位、CT画像から計算した体格指標、等これらの情報は、共同研究機関である金沢大学へ提供されます。これらの情報は、氏名・患者番号等を、誰のものか判別できないようまったく別の管理番号（登録番号）に置き換えた上で、セキュリティ管理されたウェブ上に保存を行い、研究グループが管理するサーバーへ電子的に収集されます。当該サーバーには研究従事者以外はアクセスすることができません。収集された情報を用いて、研究グループが統計解析し、全身外傷 CT 検査を受けられた患者さんの体重と CT 検査画像から計算できる体格指標の関係性について検討を行います。

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：日本医科大学付属病院 放射線科

研究全体の責任者：日本医科大学付属病院 放射線科 主任 菅谷 正範

その他の共同研究機関：金沢大学 医薬保健研究域保健学系 教授 松原 孝祐

情報の管理について責任を有する者：日本医科大学付属病院 放射線科 主任 菅谷 正範

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省 告示第1号）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(7) 当院における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 放射線科 診療放射線技師 菅谷 正範

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：3226

メールアドレス：sugaya@nms.ac.jp